

令和6年度 創立150周年記念☆吉田小学校大収穫祭

保護者の感想(集約)

1 良かった点

- 家族、大人たちも楽しめるよい祭りでした。子どもたちの成長とパワーを感じることができ、今後も続いていければと思いました。
- 昨年、うまくいかなかった点を成功に変え、素晴らしい会だったと思います。子どもたちが育てたものに、みんなで手を加え、一緒にいただく、みんなが楽しそうで、それがまた楽しくすごい行事だなと思いました。今年のもちつきは、年配の方が参加してくださったおかげで、きれいにつくやり方を教えていただきありがたかったです。
- この度は素晴らしい、そして皆がとても楽しんでいる収穫祭をありがとうございました。子どもたち一人一人が自発的にチャレンジしている様子を拝見し、たくさんパワーをいただきました。先生方も日々お忙しい中、子どもたちへの丁寧なサポートをありがとうございます。そういえば、収穫、餅つきはずっと前はしていたと式典で初めて知り、「伝統だったのか!」と驚きました。子どもたちの一年の成果を発表する場でもあるので、運営大変だったと思いますが、がんばってください。今後も私たちががんばります。
- アントレプレナーシップの授業についての発表で、5・6年生がとても充実した学習をしていたことを知りました。
- 子どもたちがてきぱき働いていてよかった。
- 子どもたち、保護者で料理を作り、地域の人々と一緒に味わうことができよかったです。
- 栽培から子どもたちで行い、収穫した作物で料理をふるまう、最初から最後まで子どもたち主体で行っている点に、昨年に引き続きとても感動しました。料理もとても美味しく楽しい大収穫祭でした。
- 今年の大収穫祭は、昨年より全てがパワーアップしていて、とても楽しかったです。子どもたちが育てた野菜がすごく美味しく、頑張って育てたんだなと思いました。そして、当日は、子どもたちがそれぞれ自分の仕事をちゃんとこなしている姿に驚きました。先生方、いつもご指導ありがとうございます。そして、子どもたちの活動を支えてくださった地域の方々に感謝です。吉田小学校でしか味わえない、元気で盛りだくさんな収穫祭でみんな笑顔になれました。ありがとうございました。
- 昨年からかなりパワーアップした収穫祭で、おもてなしメニューが増え各学年それぞれが主体的におもてなしをしていて素晴らしかったです。子どもも大人も一緒になり、作り上げて食事をする事で特に思い出深い行事になりました。ありがとうございました。
- 昨年の大収穫祭は都合により参加できずでしたが、今年初めて参加させていただき、本当に素晴らしい行事だなと実感しました。まず、子どもたち一人一人が自分の役割を意欲をもって取り組んでいることにとっても喜びを感じました。「大人から指示されて動かされている」「つまらない」などという様子が全くなく、自分から「次はこうしよう。」「次にすることはなんだろう?」と考え行動する姿は、普段なかなか見る機会がないため、今回参加できて本当によかったと思いました。また、少なくなっ

いく児童数を心配しつつも、こんなにも地域の方々が少人数の子どもたちのために集まってくれる温かさに改めて、吉田のよさを実感する機会となりました。この度は、大収穫祭に参加させていただき、本当にありがとうございました。

- 1・2年生はポップコーン作りの際、一人一人が自分の役割をしっかりとこなし、集中して作っていました。作るうちにどんどん上手になり、手際よく行っており、感心しました。「こうすると作りやすいよ。」という子ども同士のアドバイスを受け、よりよくしている姿も印象的でした。販売では、お店が作られ、楽しく積極的に売り子をしていました。自分たちで育てて収穫し、人を喜ばせるという経験ができ、貴重な学びの期間となったと思います。餅つきの際「たのしいねえ～」と地域の方の言葉が残りました。子・親・祖父母がつながって楽しい時間を創る、学校でできる新しい形と感じました。
- 昨年度よりレベルアップしていたし、スムーズに行えたのでよかった。子どもたちも一緒に準備から料理等参加できたので子どもたちもよい経験になったと感じた。豚汁では、野菜を子どもたちが切ってくれていたのも、その分早く煮ることができて、余裕を持って配膳出来て助かった。子どもたちには薄く切るのが難しかったのか、気持ち大きくなって煮えるか心配だったため、少し大人の手を入れさせてもらったものもある。普段食べない保育園児も豚汁、大学芋、初めておもちゃをたくさん食べてくれました。楽しい美味しい時間ありがとうございました。
- 今年は昨年のような失敗がほとんどなく、来年の課題はなくなった気がするほど、今年は大成功でした。1～2年はポップコーン、3～4年は大学芋を作り、全員参加の大収穫祭でした。
- 子どもたちが春から考えて育てた野菜を自分たちで収穫して、その野菜でどうすればおいしくなるかを分たちで調べて料理をする。できそうでできないとても素晴らしい体験だと思います。何よりも子どもたちが楽しそうだったのが印象的です。ポップコーン、大学芋、豚汁、お餅とれもとってもおいしかったです。お店屋さんみたいで、もらいに行くのも楽しくなりました。少ない人数でこれだけのことができる、吉田小の子どもたち、先生方に感謝しかありません。ありがとうございます。来年度も大変なこともあるかと思いますが、続けてもらえたら嬉しいです。とても素晴らしい時間をありがとうございました。
- 今回ボランティアとして初めて収穫祭に参加しました。先生方の事前準備のおかげで、当日はスムーズに豚汁作りを進めることができました。ありがとうございました。豚汁作りチームでは、6年生のお母さん方を中心に、昨年の反省を踏まえて段取りよく進めていただきました。来年はいらっしやらないと思うと、少し不安になります。ぜひ地域ボランティアで参加していただきたいです。子どもたちが作った料理もとてもおいしかったです。栽培から収穫、その後の調理まで、ひと通りを経験したことは、子どもたちにとっても素晴らしい体験になったと思います。種から苗を育てた者としても、感慨深い気持ちになりました。

2 改善点

- △ 150周年で今年は特別だったのかもしれませんが、1～4年生も発表があったので、負担にはならないのかなとちょっと気になりました。
- △ 餅が固くなるので、つきたてを食べられるようなスケジュールを考えた方がよい。
- △ おもちがつき終わってから、「いただきます。」で食べ始めるまでに少し時間があり、食べるころには固くなってしまっていたので、そこだけ少し残念かなと思いました。固くても美味しかったので、このお餅がもう少しやわらかい状態で食べられたなら、さらに最高だなと思ったので書いてみました。

- △ 5・6年生は、特に発表が多い中でも豚汁の手伝いから全員が休む時間もないくらい動き回り頑張っていたので、つきたてのおもちをあたたかいうちに食べさせてあげたかったなと思いました。
- △ 5・6年生は、発表の後に食べていたので、お餅が固くなっていたので、食べてから発表か、餅つきの時間をさらにずらすかしてもよいと思いました。
- △ 豚汁作りを、もう少し子どもたちと一緒に作業したかった。
- △ いろいろな作業を一日に詰め込んだため、整備作業が予定通り終わらず、収穫祭の準備が遅れて始まりました。作業間の時間に少しゆとりがあった方がよいかと思いました。
- △ 強いて言えば、もち米を蒸すのが少し遅くなりました。

職員反省(集約)

1 前日までの準備や役割分担について

- 体育館の掲示で、子どもたちの活動が分かりやすくまとめてあり、よかった。
- それぞれの学年で役割（ポップコーン・大学芋・もち）があって、全員で作る収穫祭になってよかった。
- きなこ作りでは、おばあちゃんたちの協力がなければ、おいしくできませんでした。大豆は40分位フライパンでいりました（弱火でアルミホイルをひいて）。ミルサーで、細かくしてふるいにかけてました。その後、ジップロックに入れて、冷蔵庫で保管しました。
- よく割り当てられていたと思います。
- △ 1・2年生のあんこ作りは、前日の方が安心だと思います。3日間、冷蔵庫に入れておくのは心配でした。あんこは、11月7日に作り、ジップロックに入れて冷蔵庫で保管しました。

2 当日の日程について

- 収穫祭の調理と各学年の発表があり、一日充実した活動に感じた。
- 3・4年生は、前日に切る→1・2限：調理→3限：盛り付け・運ぶ→4限：餅つきでカツカツしすぎず、暇すぎず、余裕をもって準備することができた。当初は、蒸かす（火を入れる）ところまでを前日に終わらせておく予定だったが、切っておくだけで十分間に合った。結果、出来立てを提供することができたので、それもよかった。
- 各学年のお店で、子どもたちが生き生きと行動できていた。たっぷり時間があつたと思う。
- △ 環境整備作業の後に、豚汁づくりやもちつき準備があるため、整備作業が早く終わった方々がそのまま準備の方へ行ってしまったので、時間でしっかり終わらせることを引き継ぎたい。
- △ いただきますをしたら、5・6年生もまずはお餅などを食べた方がよかったと思います。「お餅が冷めてしまってかわいそう。」という声が聞こえてきました。

3 当日の準備や役割分担について

- 旧職員（ボランティア）が、ずっと大学芋作りを手伝ってくださったので、大変助かった。
- 1・2年生のポップコーンは好評でした。味をセルフで楽しむのはよかったです。

- 子どものアイデアで、お茶を出すコーナーを作ったが、意外に好評だったし、子どもたちも楽しんでお茶を入れていたのでよかった。また、クラブでの経験を生かすことができたこと・茶道指導者の方からいただいた大量の茶器を使うことができたことも、とてもよかった。
- △ 1・2年生のあんこを温め直す作業と砂糖をまぜる作業を、1・2年生と一緒にできたらよかったのですが、ポップコーンづくりで精一杯だったので、職員室で養護教諭が全てしてしまいました。当日の作業がたくさんあるのは、1・2年生には大変かと思いますが、次年度は分担してできるとよいです。ポップコーンづくりは、大人の手がたくさん必要でした。事前にお手伝いできる方を決めておいた方がよいです。
- △ 大量に調理する上、火も使う時は、最低でも2人大人がいると安心だなと思った。
- △ 思っていたよりも、子どもの手際が良く、豚汁の材料を早く切り終えてしまった。親と一緒に作業をする場面を作りたかったがうまくいかなかった。来年度は、整備作業が始まってから、野菜を切り始めるようにする。
- △ 5・6年生は、時間に余裕があったので、きなこに砂糖を混ぜたり、あんこを温めたりする作業をすることは可能だと思う。1・2年生が無理であれば、5・6年生が手助けすることはできる。

4 保護者の動きや役割分担について

- それぞれの担当場所で、最後の片付けまでしていただき、大変ありがたかったです。
- 昨年度経験した保護者ボランティアの方が、環境整備作業中に、ガスコンロの準備をし、お湯を沸かし始めるといように、昨年度の反省を生かして、保護者も動いてくれていたので、大変助かった。
- 餅つきの手際よさに驚いた。6年生のおばあさんや米作り指導者の方、自治振興会長さんなど、ベテラン勢が加勢してくれて、本当にありがたかった。

5 当日の会の内容について

- 会食が終わってからの発表会で、じっくり参観できてよいと思いました。
- すべてよかったです。
- △ 5・6年生も一緒にみんなで一旦食べてから、次にみんなの発表の方がよいかなと思った。せつかくの5・6年生の発表を聞く態度があまりよくなかった。
- △ 食べ終わった人がちよろちよろしてすみませんでした。もう少し食事の時間が短くてもよいかなと思った。
- △ 1・2年生も、3・4年生も食べ物を配るという仕事があったので、配膳開始から「いただきます。」まで、時間がかかってしまった。待ちきれず大人が先に食べてしまっていたので、「うーん。」と思った。

6 必要物品について

- 必要物品、食材など計画にまとめてあり、準備しやすかった。今年度追加で買ったものもたくさんあったので、来年度の計画に反映していただくとありがたい。
- ガス台（家庭科室）を時間までに空けられるかが心配だったが、カセットコンロのおかげで心配なく調理できた。
- △ 家庭科室の調理器具で古いものは、新しく購入しておいた方がよいと思います。木しゃもじは、ささくれが多いと思いました。
- △ 来年もポップコーンは、カセットコンロでやるとよい。
- △ 大学芋：油と砂糖が途中で足りなくなりました。他のチームから恵んでいただきました。

7 その他

- 区長さんたちが、来てくださったことがとてもうれしかった。150周年記念式典を機に、吉田小を身近に感じてもらえていることを実感した。
- 1・2年生のあんこときなこのおいしさにびっくりした。おばあちゃんたちの知恵と技術の素晴らしさを実感した。かつてあった祖父母参観はなくなってしまったが、このような形で祖父母から学ぶ機会を設定できるのは、とってもいいなと思った。